

5 笠岡の歴史と伝統文化の保存に関する事業

実 施 事 業	白石踊後継者育成事業（生涯学習課）
総 事 業 費	1,999,740 円
ふるさと納税充当額	1,665,000 円

白石踊は白石島に古くから伝わる盆踊りで、国の重要無形民俗文化財に指定されています。また、白石踊をはじめとする41の踊りが「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録されています。一つの口説き（音頭）に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴で、瀬戸内海で行われた源平水島合戦の戦死者の霊を弔うために始まったと言伝えられています。地元白石島の人を中心とする「白石踊会」が保存伝承に努めています。

本事業では、白石踊会が踊り手を育成する定期練習会や、白石踊体験・鑑賞ツアーに合わせて行う出前講座、イベントへの参加などを支援しています。定期練習会では、白石踊会笠岡支部の会員に指導を行い踊りの技術の向上を図ったほか、踊りの担い手を増やすために新会員を募り、踊り方を丁寧に指導しています。また、島内外のイベントにおいて白石踊を披露し、多くの人に踊りの魅力を伝えています。

このほかに、踊りを披露する際に使う提灯や音頭台を飾る幕を新調しました。こうした活動が白石踊の伝承・普及につながっています。



白石踊会笠岡支部定期練習会の様子



白石踊体験・鑑賞ツアー

実 施 事 業	木山捷平生家維持管理事業（生涯学習課）
総 事 業 費	112,665 円
ふるさと納税充当額	20,000 円

木山捷平は笠岡市山口出身の詩人・小説家です。その生家は、明治末頃(20世紀初頭)の建築で、木山捷平の作品の世界観を良く残しています。平成30年度にご遺族から寄附を受けて以降、少しずつ補修工事を行い、公開活用に向けて環境を整備してきました。

令和5年度は、主屋の外壁で漆喰の一部が剥がれていたため、その部分を塗り直し、建物の劣化を防ぎました。そのほかに、定期的に家屋内部の清掃、庭の除草・掃除、庭木の剪定を行い、いつでも見学者をお迎えできるように環境を整えました。

今後も良好な環境を保つことができるよう努めて参ります。



木山捷平の歌碑が立つ生家の庭先

実 施 事 業	竹喬美術館輸送・展示・撤収業務委託（生涯学習課）
総 事 業 費	4,162,430 円
ふるさと納税充当額	4,000,000 円

令和５年度は、竹喬美術館において４回の展覧会を開催しました。美術品の取扱いには高度な技術を求められ、展覧会に係る作品の借用，輸送，展示，撤収業務を美術品梱包輸送技能士の資格を有する作業員がいる業者に委託しています。

【令和５年度展覧会】

- ①テーマ展 開館４０周年記念 生誕１４０年 歌を楽しむ 清水比庵
4/1～4/23
- ②特別展 近現代日本画 三重県立美術館名品展 4/29～6/18
- ③テーマ展 生れる絵画 一スケッチから下絵，習作，本画へ 7/1～8/27
- ④テーマ展 国画創作協会の画家たち 3/16～3/31



◇特別展 三重県立美術館名品展 特別ギャラリートーク

実 施 事 業	笠岡ふるさと再発見事業（生涯学習課）
総 事 業 費	158,310 円
ふるさと納税充当額	100,000 円

令和5年度で9回目となった「笠岡へ愛着を持ち隊」は、小学生とその保護者に、笠岡の良いところに訪れる機会を提供し、笠岡のことをもっと知って、もっと好きになってもらうことを目指しています。具体的には市内の小学生とその保護者に、『文化財めぐりハンドブック』に掲載された市内の文化財や文化施設を巡り、そのレポートを作成してもらいました。

令和5年度は、募集の結果、57人からの応募がありました。レポートの提出者全員に笠岡市の文化財クリアファイルを贈呈しました。審査で優秀賞に選ばれた2人には笠岡の特産品を、努力賞に選ばれた10人には図書カードをさし上げました。

さらに優秀な作品を市立図書館と、市民開館で開催された生涯学習フェスティバルで展示し、多くの皆さんに見ていただきました。



優秀賞受賞者への賞品



生涯学習フェスティバルでの優秀作品の展示

実 施 事 業	井笠鉄道記念館管理事業（生涯学習課）
総 事 業 費	1,292,080 円
ふるさと納税充当額	815,000 円

笠岡市井笠鉄道記念館は、井笠鉄道の歴史を後世に伝えるために笠岡市が引き継ぎ、平成 26 年 3 月 30 日に開館してから 10 周年をむかえました。

開館以来、記念館の管理と運営に携わる新山地区自治会が来館者のおもてなしや清掃などを行っています。令和 5 年度には 3,000 人以上のお客様が来館され、開館以来の入館者数も累計 35,000 人近くになりました。

毎年 3 月に開催される井笠鉄道記念館まつりは、コロナ禍で中止した年もありましたが、令和 6 年で 8 回目をむかえました。飲食物のバザーをはじめ、ステージでは地元の保育所園児による竹太鼓や、中学校の吹奏楽部による演奏など、地域の皆さんに愛されるイベントに成長しました。

このほかに、開館 10 周年を記念して井笠鉄道記念館マスキングテープを 2 種類作成しました。現在鉄道記念館で販売しています。また、屋外に展示された腕木式信号機の補修などを行いました。

今後も、来館されるお客様に喜んでいただけるよう努めて参ります。



屋外展示の機関車：

鉄道記念館まつりにあわせて煙突から煙を出すアトラクションが行われた。

実 施 事 業	文化財案内看板作成設置事業（生涯学習課）
総 事 業 費	82,500 円
ふるさと納税充当額	82,500 円

笠岡湾干拓地の中に、周囲を広大な農地に囲まれた、木之子島と呼ばれる小高い丘のような場所があります。干拓工事が行われるまで、現在の笠岡湾干拓地は遠浅の海で、木之子島はその海に浮かぶ小島でした。

令和3年に笠岡市が木之子島の寄附を受けて以降、草刈など環境整備を行ってきたほか、道路沿いに見学者を誘導するための表示板を設置してきました。令和5年度は、古地図や古写真を掲載し、干拓以前の木之子島の様子などを紹介する説明板を設置しました。見学に訪れる皆さんに、木之子島のあゆみを知ってもらえることができました。



木之子島に設置した説明板

実 施 事 業	文化財保護事業（生涯学習課）
総 事 業 費	5,000,000 円
ふるさと納税充当額	132,000 円

笠岡市では、文化財保護事業補助金によって、指定・登録文化財を保存し後世に伝えるための取り組みを支援しています。

令和 5 年度は、吉浜の菅原神社本殿（市指定重要文化財）の修理に補助金を支出しました。

吉浜の菅原神社本殿は、江戸時代の延宝 2 年（1674）に建築された市内最古の本殿建築ともいわれていますが、屋根瓦が傷んで木が生えたり、一部部材が腐朽するなど劣化が進んでいました。そこで、屋根瓦を全て葺き替え、傷んだ部材を交換する事業が行われました。事業の結果、本殿を良好な環境で維持管理できるようになりました。



本殿改修後の吉浜の菅原神社本殿